

## II 宗谷農業改良普及センターの普及活動方針

近年の資材および燃料価格の高騰、肉用牛子牛など副産物価格の低下等、未だ酪農情勢が厳しい中、加工用乳価の引き上げ、また、令和6年度は生乳生産抑制からの脱却に向けた全道生乳生産目標数量が決定された。これにあたり、宗谷管内では、冷涼な気候と広大な草地資源を最大限活用した良質粗飼料の確保、家族経営体と法人経営体それぞれの利点が活かされ、持続可能で生産性の高い酪農産業の推進。また、地域に人を呼び込み、多様な人材が定着し、地域と酪農産業を支える未来を想像し、第6期北海道農業・農村振興推進計画（めざす姿）に掲げる4つの将来像、また、第8次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画、宗谷地区農業振興方策の実現に向けて、普及活動を展開する。

### 1 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立

持続可能で生産性が高い農業の展開を目指し、生産基盤の計画的な整備と適切な利用に向け関係機関・団体、総合振興局、試験場との連携により安定生産と環境と調和した農業を推進する。

#### (1) 生産基盤の強化

ア 自給飼料基盤の強化により、単位あたり収量の向上を図る。

イ 持続的農業を展開するためにスマート農業を推進し、データ化による優れた技術の普及・定着および継承を推進する。

ウ 安定した粗飼料確保に向け、牧草割合の確保や草地更新を推進する。

#### (2) 安全・安心な食料の安定生産確保

ア 自給粗飼料および流通飼料の適正な管理と利用により安定した生乳生産を推進する。また、草種や土壌の肥沃に応じた施肥や農薬管理を推進する。

イ ポジティブリストを通じて食の安全・安心に関する理解を深めると共に、リスクコミュニケーションを推進する。

ウ 競争力のある生乳生産に向け飼養管理技術の向上と衛生的な生乳生産の徹底を図るとともに、飼養施設や搾乳ロボットなど合理的な搾乳システム導入による省力化を推進する。

エ 家畜の資質向上に向けてゲノム育種評価法を用いた牛群改良を推進する。

オ 肉用牛を取り入れた酪農との複合経営による多様な肉用牛生産を推進するとともに、飼養管理技術の向上による肥育素牛の増体効率改善を推進する。

カ 生産物の安全、労働安全、農作業事故防止、農場経営管理等の持続的可能性を確保するためにGAPを推進する。

#### (3) 環境と調和した農業の推進

ア クリーン農業の推進による環境負荷軽減を促進する。

イ 農業用廃プラスチックの適正処理、家畜排せつ物の適正管理と利用に向けた取組を推進する。

ウ エゾシカやアライグマなどの野生動物による農業被害軽減に向けた取組を推進する。

### 2 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立

自給飼料基盤に恵まれた条件を活かし、関連産業と連携強化を図るとともに、新たな付加価値の創出に向け、関係機関・団体、総合振興局、試験場と連携し推進する。

#### (1) 国内外の食市場への販路の拡大

ア 高品質な生乳出荷を持続させ、様々な機会を活用した情報発信を推進する。

イ 草地資源を活かした肉用牛繁殖経営支援を通じて、優良な素牛生産を確立することでブランド化を推進する。

#### (2) 地域資源を活かした新たな価値の創出

ア 草地酪農で生産された生乳から作るチーズ製造技術の伝承・啓発を行い、経営感覚を持って6次産業化に取り組む人材育成および異業種との連携による取組を推進する。

イ 地域資源を活かした体験、交流プログラムの作成、充実を図り、関係する団体等と連携した農村ツーリズムの取組を推進する。

### 3 多様な人材が活躍する農業・農村の確立

農業・農村に多様な人材が定着し活躍できるよう家族経営の体質強化や、法人経営体の育成に向けた支援を行う。また、女性農業者が一層活躍できる環境を整え経営管理能力を高めるとともに、新規就農者に対する高度で専門的な研修と地域における円滑な受入体制の充実を推進する。さらに、農作業受委託組織の育成・強化を図るとともに、地域を支える人材育成を関係機関・団体、総合振興局、試験場と連携し推進する。

#### (1) 農業経営体の安定・発展

ア 意欲の高い担い手が新たな展開ができるよう、新技術導入に向けた支援を行うとともに、生産技術の高度化を推進する。

イ 経営の安定、体質強化を図るために経営管理技術の向上支援に取り組む。

#### (2) 農業経営を担う人材の確保・定着

ア 多様な人材が就農できるよう高校生や大学生に対し、宗谷酪農セミナーや農業者との交流などを通して魅力を発信し、就農への動機付けとなる取組を推進する。

イ 新規就農希望者が円滑に就農できる環境整備を関係機関・団体と連携し取組むとともに、実践的な研修会を通じて早期に経営が確立できる取組を推進する。

ウ 優れた農業経営者の育成に向け経営力や技術力を高める支援体制を整えるとともに、個別支援や研修会等を通じた育成支援を推進する。

エ 法人経営での円滑な経営継承や、幹部となる人材育成を推進する。

オ 経営技術の習得を目的に女性農業者が組織する f f 宗谷を始めとする女性農業者グループ支援を通じて、地域全体の資質向上を図る取組を推進する。また、地域をリードする女性農業者の育成を通じ、能力の発揮できる環境作りを推進する。

#### (3) 経営体を支える地域農業支援組織の育成・強化

ア 生産規模拡充による労働負担軽減を図るため、既存のコントラクターやTMRセンターの内容充実を進めると共に、労働力確保対策や組織間の補完体制の整備などを推進する。

イ 支援組織・団体におけるスマート農業技術や新たな生産システムの円滑な導入と定着に向け支援する。

#### (4) 地域を支える多様な人材活躍

多様な人材を受け入れるにあたり作業のマニュアル化や労務管理、働く環境の整備などマネジメント力強化に向けた支援を行う。

#### (5) 快適で安心して暮らせる生活の場づくり

ア 肥料成分を考慮した家畜排せつ物の適切な管理と活用を推進する。

イ 農業法人や農業支援組織の拡充等による農村全体の雇用確保を促進する。

ウ 食・滞在・体験等を提供する農村ツーリズムを推進する。

### 4 道民の理解に支えられる農業・農村の確立

宗谷の草地型酪農が支える「食」の大切さを発信し、地域住民への理解促進を通して、農村づくり、農村の魅力発信を関係機関・団体、総合振興局と連携し推進する。

#### (1) 愛食運動の総合的な展開

チーズ作りを実践する酪農家が伝承者となり地域と結びつく食育を推進する。

#### (2) 地域住民が一体となって創る活力ある農村づくり

地域の将来像について検討する活動を支援するとともに、農村が持つ景観や地域資源の活用に向けた活動を支援する。

#### (3) 道民のコンセンサスの形成

農業者によるファームステイやふれあいファームなどを通じ、農村の理解を促し、関心が持てる取組をすることで、農業に対する理解が深められる活動を推進する。